

「結核と潜在性結核感染症は何が違うのですか？」

結核とは「結核菌」という菌によって引き起こされる感染症です。結核菌を肺に持っている人が咳やくしゃみをしたりとすると、咳やくしゃみに混じってその結核菌が空気に飛び散ります。周りにいる人がそれを吸い込んでしまうと、結核菌が体に取り込まれて、結核に「感染」してしまいます。しかし、体の中に取り込まれた結核菌は免疫力の抵抗にあいます。

もし免疫力が勝てば、結核菌は押さえこまれて、休眠状態に入ります。

・・・「休眠状態」とはすなわち、体の中で何も活動をしていない状態です。この状態のことを「**潜在性結核感染症**」と呼ぶのです。何も活動していないということは、体に何も悪さをしていない、ということです。なので、潜在性結核感染症の人は症状もなく、体調も悪くありません。また休眠状態にある結核菌を他の人にうつすこともありません。

もし免疫力が負けてしまうと、結核菌は活動を続けて「結核」という病気をおこします。

・・・結核菌が体を攻撃し、色々な症状を引き起こしたり、時として命を奪うこともあります。結核は感染症なので、他の人にうつしてしまう可能性もあります。

「でも私が自分の国にいた時は、LTBIについて、聞いたことがなかったです。」「自分の国ではLTBIの治療はしないです。」

それは国によって、優先すべき課題が違うからです。もしあなたの国で結核にかかる人や結核で亡くなる人がまだたくさんいれば、あなたの国では結核にかかっている人を見つけること、治療すること、が優先されるでしょう。それがあなたが、あなたの国でLTBIやLTBI治療について聞いたことがない理由の一つかもしれません。



日本では結核患者さんの数はとても少なくなってきています。そのため、結核の治療はもちろんのこと、潜在性結核感染症の人にも治療を勧めています。

私たちについて

私たち、公益財団法人結核予防会結核研究所は、日本で唯一の結核対策や結核に係る研究を専門としている非営利の研究機関です。

電話番号：042 493 5711
URL: <http://www.jata.or.jp>

潜在性結核感染症について

公益財団法人結核予防会
結核研究所



本パンフレットはJSPS科研費JP 20K10491の助成を受けて作成したものです。

「潜在性結核感染症では結核菌は休眠していて、体調も悪くない・・・それなら、なぜ心配する必要があるの？」

なぜなら、休眠している結核菌は、いつか起きて、あなたの体を攻撃し始めるかもしれないからです。しかしそれが「いつ」なのか、は予測することができないのです。

一方で「潜在性結核感染症」から「結核」になりやすい人はこのような人たちです。

- 結核にかかっていた人と一緒に住んでいた、あるいは働いていた、など近い関係にいた人。
- 結核にかかっている人がたくさんいる国から来た人。
- 免疫力を弱くしてしまう病気や治療をしている人。例：HIV/AIDS、がん、糖尿病など。
- 免疫力を弱くしてしまう生活をしている人。例：煙草を吸う人、アルコールや薬物中毒の人、栄養が不足している人、運動不足の人など。

眠っている結核菌は、いつか起きて「結核」という病気を引き起こすかもしれません。でも結核菌がいつ起きるかは予測することができないのです。

「潜在性結核感染症の治療って何を するの？薬を飲まなければいけない の？」

もしお医者さんが、あなたは「潜在性結核感染症から結核になりやすい人」かもしれない、と判断した場合は、結核菌をなくすための治療を勧めます。

日本で推奨されている潜在性結核感染症の治療は、結核のお薬を2種類（イソニアジドとリファンピシン）、3-4カ月間飲むという内容です。しかし、治療のオプションはこれだけではないので、お医者さんとよく相談して、あなたにとって最も最適な治療内容を考えてもらってください。

潜在性結核感染症の治療は結核の治療と比べて、薬を飲む期間が短い、飲む薬の量が少ない、治療にかかるお金が少ない、というメリットがあります。

潜在性結核感染症は、結核になってしまった時の治療に比べると、薬を飲む期間が短く、飲む薬の量が少なく、また治療にかかるお金も少なくて済みます。



「潜在性結核感染症の治療中は仕事 や学校を休まないといけないの？」

その必要は全くありません！潜在性結核感染症の治療を受けている＝病気、ではないのですから。潜在性結核感染症の治療中でもあなたが学校や仕事を休む必要はありません。いつも通りの、健康な人と全く同じ生活を送ることができます。

ただお薬の副作用などの確認のために、何回か受診をする必要があります。詳しくはお医者さんと相談してください。

「それでも先生や上司から学校や 仕事を休めと言われてしまったら？」

もし潜在性結核感染症の治療を受けることで不利益を被っている、あるいは被りそうだと感じたら、下記までご相談ください。あなたの言語で相談ができます。

結核予防会 電話相談:

03-3292-1218

毎週火曜日

10:00-12:00 & 13:00-15:00

潜在性結核感染症であること、潜在性結核感染症の治療をしていること＝「病気」ではありません。あなたはいつも通りの生活を続けることができます。